

馬町空襲記録写真について

この写真は空襲のあった昭和 20 年当時、馬町にも近い今熊野柳ノ森町で写真の撮影と材料販売の店「アサヒ写真」を営んでいた私の祖父村中秀光によって撮影されたものです。後片付けが進み、瓦礫がまとめられている状況からおそらく空襲の数日後に撮影されたものと思われます。

私も「京都は文化財があるから米軍の配慮で空襲を免れた」と聞いて育った世代ですから、祖父から京都に空襲があったことを聞いても半信半疑でした。「空襲を撮った写真がある」と聞いていましたが、実際にその写真を見つけたのは祖父が亡くなったずっと後からでした。ですから撮影の詳しい状況については残念ながら全くわかりません。

祖父が亡くなったあと、古いフィルムを整理したのですが、煤けて真っ黒な箱の中に古いネガフィルムがたくさん入っており、その中に「空襲」と書かれたフィルムケースがありました。写真の保管状態としては劣悪な環境でしたが幸い画像はあまり痛まずに保存されていました。

昨年インターネットで「馬町空襲を語り継ぐ会」の存在を知り、ホームページの資料で空襲について詳しく知ることが出来ました。また酒谷さん、石本さんにお会いして直接お話を聞くことも出来ました。このたびネガケースにあった写真 12 枚を一冊のファイルにまとめて贈呈させていただきます。戦後 70 年という節目に祖父が撮った写真を「語り継ぐ会」にお渡しすることが出来て本当にうれしく思います。

平成 28 年 1 月 16 日

村中 修



昭和 20 年当時の祖父村中秀光



フィルムケースとネガフィルム